

2021 夏が好き！本が好き！！

～先生方が薦めるこの夏の1冊～

関口校長先生のおすすめは…

①S588-カ『砂糖の歴史』 川北 稔 || 著 岩波書店

今では豊富に入手可能で、時にはダイエットの敵とすら言われる「砂糖」を題材に、砂糖が多くの人に影響を及ぼす「世界商品」となる16世紀以降の世界で、砂糖の獲得にどの国が主導権を握り、その生産のために作られた植民地や黒人奴隷の制度がどんな変遷をたどり現在に至ったかをわかりやすく説明しています。歴史を学ぶということは、必ずしも年代や事件、人名をたくさん覚えることではなく、モノひとつの周りで様々な事が動いて文化や経済まで変わり、今の時代につながっていることを理解することであると感じさせてくれる一冊です。ぜひ一読を。

②914.6-ヤ『たちどまって考える』 ヤマザキ マリ || 著 中央公論新社

一昨年度末からの新型コロナウイルスの地球規模の感染拡大により、あらゆるものが停滞し、様々な情報が錯綜し、政治も医療も混乱している状況が続いています。そんな中、漫画家としての観察眼を持つ著者ならではの切り口で、コロナ禍で浮かび上がった、空気を読み、失敗を恐れ、周りに流される日本人の考え方に対して、このご時世だからこそ一度立ち止まって考え、周りを見つめ直し、自分の言葉で語ること、最終的に自分自身で選択することの大切さを感じさせてくれる1冊です。ぜひ一読を！

中村教頭先生のおすすめは…

420-ハ『物理学者のすごい思考法』 橋本 幸士 || 著 集英社インターナショナル

思考力・表現力・判断力で教育が問われている昨今、日々の中でも無理をせずにその力が育まれるのだなと気づかされる本です。

日常生活で独自の視点で、ものごとを考える、それが著者の「物理学的思考法」。その矛先は、日々のいつもの身近な問題。通勤やスーパーマーケットでの最短ルート。ギョーザの適切な作り方といったことなどなど。

「“物理”は難しいな」と思っている人がいるなら、おすすめです。これからの気づきやひょっとしたら生き方を変えられるかもしれない…そんな一冊です。

秋野先生のおすすめは…

913.6-タ『銀河英雄伝説』 田中 芳樹 || 著 徳間書店

物語もよくつくりこまれており、様々な事を考えさせられる小説です。

浅見先生のおすすめは…

333-ハ『10代からのSDGs』 原 佐知子 || 著 大月書店

中学でも、【SDGs】関連を学んできた皆さんも多いかもしれません。今さらSDGsのことなんか聞けない！と思っている皆さん、この本は入門書です。図書館のSDGsコーナーにもありますので、ぜひ読んでください。

阿部先生のおすすめは…

B913.6-ツ『プシュケの涙』 柴村 仁 || 著 アスキー・メディアワークス

夏休みに1人の少女が校舎から飛び降りる…という場面から始まるミステリーと恋愛の要素が入っている小説です。場面が高校ということで生徒のみなさんも身近に感じるどころがたくさんあると思います。また、読書が苦手な人でも読みやすく、会話文も多いので自分もその場にいるかのような感覚が味わえます。まさかの展開にきっと驚き、感動するはず！！ぜひ読んでみて下さい。

伊久美先生のおすすめは…

読書はしたいけれどまとまった時間がない・長い文章を読む体力がないという人にもおすすめな連作短編集をご紹介します。

①929.1-チ『フィフティ・ピープル となりの国のものがたり』 チョン・ヤラン || 著
吉川 綾子 || 訳 亜紀書房

51人分の人生がどこかしらでつながっている話。索引にメモをしながら読むと楽しそう。

②913.6-ウ『青い春を数えて』 武田 綾乃 || 著 講談社

どこか「ふつつ」と違う女子高校生たちの話。

③913.6-カ『映画篇』 金城 一紀 || 著 集英社

巡り巡って、「ある映画が公民館でリバイバル上映される」というところにたどりつく話。

稲本先生のおすすめは…

①913.6-1『盤上の向日葵』 柚月裕子 || 著 中央公論新社

上下巻になっているほどの長さを全く感じない作品です。おやつや飲み物をいつもより多めに用意して一気に読むことをおすすめします。

ちなみに作品の舞台の1つはたしか、埼玉県です。

②159-ヅ『続 多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ』 Jam || 著 サンクチュアリ出版

今度は「孤独も悪くない編」とのこと。

1人時間も嫌いではない私も思わず手に取った納得の一冊です。じっくり読まなくても、心が落ち着くと思います。

太田興一先生のおすすめは…

『長崎の鐘』 永井 隆 アルバ文庫

(図書館蔵書 916-11『日本の原爆記録 2』 家永三郎 || 他編 日本図書センター に掲載)

永井隆さんは、1945年8月9日に長崎で被爆した長崎医科大学病院のレントゲン科の医師。原爆投下の前からX線を大量に浴び続けたことにより発がん、すでに余命宣告を受けている状況での更なる被ばくであった。

カトリック信者の彼は、自身を顧みず、被ばく下の長崎で救護活動にあたった。その後、次第に容態が悪化するなかで、浦上やカトリック教会の方に建てていただいた広さ三畳の家「如己堂(にょこどう)」で療養しながら、子どもたちを養うために執筆活動を続けた。その中で、1949年1月に出版されたのがこの本である。タイトルは近くにあり、被ばくした浦上天主堂の「アンゼラスの鐘」に由来する。

この本の反響は大きく、映画や歌謡曲にもなった。

NHK朝ドラ『エール』の古関裕而さんが作曲、大ヒットして「第1回NHK紅白歌合戦」の大トリで熱唱されたのが同名の曲『長崎の鐘』。本校が九州へ修学旅行に行っていた頃はいつも、地元のバスガイドさんが“ここぞ”のタイミングで心を込め熱唱してくれた曲でもある。

ちなみに、永井さんのもとへ、先日の芸術鑑賞会で鑑賞したヘレンケラーさんも1948年10月18日に訪問、手を握り合ったという。

夏休みでもなかなか外出できないこのご時世、この一冊は、人間が生きる意味や「平和」「軍事」「医療」等、自然科学の様々な利用形態と側面を見つめ直す良い機会になると考える。是非、手に取ってほしい。

大庫先生のおすすめは…

①913.6-オ『52ヘルツのクジラたち』 町田 そのこ || 著 中央公論新社

2021年本屋大賞受賞作です。

まずはこの題名『52ヘルツのクジラたち』の意味は何か？「52ヘルツのクジラ」とは、他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く、世界で一頭だけのクジラで、たくさんの仲間がいるはずなのに何も届かない、何も届けられない。そのため、世界で一番孤独だと言われている。

この本を読み始めると、次はどうなるのかとだんだん引き込まれていくように感じられ、次々と登場する人物の背景に何があるのか興味が湧いてくる。そして、現在の社会が抱えている社会問題が見え隠れしているようにも思われる。是非読んでみてください。

②049-ノ『妄想国語辞典』 野澤 幸司 || 著 扶桑社

一般的な国語辞典とは違い、勝手に作り出した世の中のない言葉に、勝手な解釈の意味を付けているのが、この「妄想国語辞典」です。その解釈が「なるほど」と思わせるユニークな解釈でその面白さが魅力です。是非ともそれぞれの言葉を想像しながら読んでみてください。

大竹先生のおすすめは…

913.6-ジ『陽だまりの彼女』 越谷 オサム || 著 新潮社

「女子が男子に読んでほしい恋愛小説No. 1」だそうです。

幼なじみとのラブストーリーかなあと思いきや…！ヒロインには秘密があります。ドキドキ キュンキュン、そしてほっこりするような作品です。ぜひ読んでみてください。

実写映画化もされているので、夏休みのおうち時間の楽しみの1つにはいかがでしょうか？

奥村先生のおすすめは…

834-ツ『英単語の語源図鑑』 清水 健二 / すずき ひろし || 著 かんき出版

「英単語が覚えられない！」「どうやって英単語を覚えればいいのか？」という人必見！

この本は語源を手がかりに関連づけて覚えることができます！しかも全単語イラスト付きです！

例えば、independent（独立した）=in（でない）+de（下に）+pend（つるす）+ent（形容詞に）
→ぶら下がっていない=独立した

という構成になっています。「へえー！そういう意味だったのかー」という新たな発見がたくさんあると思います。イラストを見るだけでも楽しいので、ぜひ手に取って読んでください☆

鹿島先生のおすすめは…

748-I『世界のかわいい散歩道』 MdN || 著 エムディエヌコーポレーション

絵本に出てくるようなかわいらしい散歩道、水辺のある散歩道、緑に囲まれた散歩道、みなさんはどこを散歩したいですか？

上村孝之先生のおすすめは…

①B913.6-カ『伊豆の踊子』 川端 康成 || 著 新潮社

恋してはいけない踊り子と学生の実らない恋心の切なさが同感です。

②B913.6-ナ『西の魔女が死んだ』 梨木 香歩 || 著 新潮社

最後の3ページ、涙があふれて止まりません。2人の心が1つになったと思ったら別れがきた惜別の情がかなしい。

上村実紅先生のおすすめは…

913.6-ホ『武士道シックスティーン』 菅田 哲也 || 著 文藝春秋

まさに「王道青春物語」。舞台は神奈川県にある高校の剣道部。二人の高校生剣道部員の物語です。私も皆さんと同じ、高校生の頃に手を取り、忘れられない本になりました。あまり多くは語りませんので、是非読んでみてください。暑い夏が、もっと熱くなる一冊です。4冊シリーズセットなので、長い夏休みのおともにいかがですか？

京極先生のおすすめは…

913.6-ム『海辺のカフカ』上・下 村上 春樹 || 著 新潮社

東京に住む中学3年生の僕が家出を決心し、その先で様々な人と巡り会っていく。家出をしてたどり着いた地で、とある図書館に通うようになり…

村上春樹さんの作品は独特な世界観があり、読解が難しいところも多いですが、読了後に残る余韻をととても楽しむことができます。

表紙がシンプルで、「これを電車で読んでいる自分、カッコイイんじゃないか!？」という不純な動機で読み始めた小説だったのですが、上下巻ともにあっという間に読み終わってしまいました。

自分もそろそろ家を出たいと思う今日この頃です。

(2?歳 実家住み独身男性 心の叫び)

楠見先生のおすすめは…

913.6-カ『霧のむこうのふしぎな町』 柏葉 幸子 || 著 講談社

小学6年生のリナは、毎年夏休みに家族旅行に行きますが、今年の夏は一人で「霧の谷」に下宿に行くことに。家を出るときに持たされたピエロの傘に導かれ、下宿先であるピコット屋敷にたどり着いたリナは、屋敷の主人で魔女のようなピコットばあさんに「働かざる者食うべからず」と言われてしまいます。最初は何もできず、自分に自信のないリナですが、「めちゃくちゃ通り」に建ち並ぶさまざまなお店で働くうちに、だんだんと成長していきます。

児童書ではありますが、私は小学生の時に初めて読んでから、大人になった今でもくり返し楽しく読んでいます。出てくるキャラクターが全員魅力的で、挿し絵も可愛い、私のお気に入りの一冊です。ぜひ読んでみてください。

栗山先生のおすすめは…

329-バ『数字でわかる! こどもSDGs』 バウンド || 著 カンゼン

「後発開発途上国では約〇〇%の人が自宅で手を洗うことができません」

あなたは、〇〇%に入る数字がわかりますか?新型コロナの流行後、手洗いは感染対策の基本なのに…。この本は数字から見るSDGsの解説本です。大人が読んでも読みごたえありです!!これから入試で小論文を書く人、時事問題を解く人、SDGsの正体を数字から探ってみませんか?

小林翔太郎先生のおすすめは…

596-ハ『世界一美味しい手抜きごはん』 はらぺこグリズリー || 著 KADOKAWA

「最速!やる気のいらない100レシピ」のフレーズ通り、こんなに簡単に美味しいものが出来上がってビックリです!!疲れてるとき、もう一品何か作りたいとき、そんなときに役立つ1冊です。

鶏チャーシューが美味しすぎるのでみんなも是非試してみてね♪

佐久本先生のおすすめは…

929-チ『保健室のアン・ウニョン先生』 チョン・セラソン || 著 亜紀書房

動画配信サイト Netflix で「保健教師アン・ウニョン」という名前の韓国ドラマがあります。原作本の著者はチョン・セラソンさんだった！ってことで、読みました。チョン・セラソンさんは可愛い女性の方で、韓国でも日本でもとても評判がよく、人気がある若手の作家さんです。

この本の内容は、学校に起こる不思議な事件をウニョン先生が解決する事件簿みたいな感じです。中高生が読みやすい本だと思います。

機会があればドラマもおススメ！主演はチョン・ユミ、ナム・ジュヒョク。

迫先生のおすすめは…

933.7-イ『クララとお日さま』 カズオ・イシグロ || 著 土屋 政雄 || 訳 早川書房

(概要) AF (Artificial Friend=人工友人) と呼ばれる高度な知能を持つロボットが裕福な家庭の子どもたちをサポートする近未来、健気で優秀な AF の1人であるクララが、病弱な少女ジョジーの家で働きながら、また彼女を取り巻く大人たち子どもたちと交流しながら、世界と、人の心のありようを観察、学習していく。

(コメント) 物語は常にクララからの視点で進むので、それにつれ少しずつジョジーの生い立ちや、彼女が暮らす世界の「仕組み」が明らかになっていくという面白さがあります。時にはクララの処理速度が状況の変化に追い付かず、読んでいる自分も酔っぱらうような独特の歪みを見せる場面もあって、終始引き込まれます。作品を通して「機械と人間の関わり方」といったことについて考えさせられるのは勿論、物語の鍵を握る「お日さま」という存在についても様々な見方ができて、誰かと感想を交換することでより一層楽しめる作品だと思います。ところでカズオ・イシグロは五歳頃まで長崎に住んでいたそうで、とすると日本が誇る AF、ドラえもんが彼に何かしらのインスピレーションを与えているような気も、しないではありません。

白石先生のおすすめは…

209-コ 『東インド会社とアジアの海』 羽田 正 || 著 講談社

ポルトガル・スペインの探検に始まる「大航海」時代。コロンブスやヴァスコ・ダ・ガマやマゼランを始めとする航海者たちは、名前こそ知っていても活動の実態や彼らが活躍した社会については知らない人も多いはず。本書は特にインド洋海域世界に焦点を当て、社会の様相とヨーロッパ人の進出による波乱をダイナミックに描き出す。名前こそ授業で習うものの、実態の分かりにくい「東インド会社」について、その活動や争いについても丹念に描き出す。

ドン引きするようなヴァスコ・ダ・ガマの悪行、商人によるファンタスティックなアジアの事物に関する伝聞、近世アジアの中での意外なまでに大きい日本の存在感など、興味を惹く内容も多いはず。ぜひ目次を眺めて、興味のあるところだけでも読んでみてほしい。

鈴木信滉先生のおすすめは…

913.6-テ『手紙屋 蛭雪篇』 喜多川 泰 || 著 ディスカバー・トゥエンティワン

受験生へ

今の受験のモヤモヤを「手紙屋」が解決してくれます。勉強の本来の意味は人によって違います。それぞれの答えが見つかる不思議な本です。

関口先生のおすすめは…

①913.6-カ『あかねさす 新古今恋物語』 加藤千恵 || 著 河出書房新社

言葉を尽したところで全てが伝わるとは限らない。短い言葉の中にこそ感ずるものがある。そんなことを時折思います。加藤千恵さんの描く「何てこともない日常の鮮やかさ」をぜひ体感してください。

②007-カ『白と黒のとびらーオートマトンと形式言語をめぐる冒険ー』 川添愛 || 著
東京大学出版会

オートマトンとは、コンピュータがある入力によって変化する様子を抽象的に考えたものです。一方、形式言語はヒトの思考過程をモデル化して表現したものです。これらをファンタジーの世界に通じて謎解き感覚で学ぶのがこの本です。パズルや謎解きが好きな人にオススメです。

③913.6-ツ『盲目的な恋と友情』 辻村深月 || 著 新潮社

全てを正しく捉えていることが本当に良いことなのでしょうか？盲目だからこそ得られる幸せもあるのではないのでしょうか。全てを知らないからこそ信じられるものもあるのではないのでしょうか。

染谷凌平先生のおすすめは…

210.1-カ『マンガでわかる日本史』 河合 敦 || 著 池田書店

漫画部分と解説部分にわかれた日本史の本です。いきなり参考書をガツガツやっていくのはちょっと…という人は是非読んでみて下さい！

高橋貴与人先生のおすすめは…

834-]『読まずにわかる こあら式英単語のニュアンス図鑑』 こあらの学校 || 著
KADOKAWA

英語のニュアンスの違いを説明する本で、一番理解しやすく、一目でニュアンスの違いが理解できる本です。本の中で登場するかわいいキャラクターの「こあたん」と「るーたん」が、英語のニュアンスをわかりやすく説明してくれます。パラパラとページをめくって眺めるだけでも楽しく学ぶことができます。

田坂先生のおすすめは…

913.6-カ『霧のむこうのふしぎな町』 柏葉 幸子 || 著 講談社

この本は小学校の図書室にあり、大好きだった本です。

主人公の女の子がある夏休みに出会った出来事なのですが、読むたびに、小学生の頃の夏休みのワクワク感を思い出します。子供向けの本とはいえ、内容も文章も美しく、高校生が読んでも満足できると思います。

田中先生のおすすめは…

913.6-ヨ『クライマーズ・ハイ』 横山 秀夫 || 著 文藝春秋

日航機 123 便墜落事故が題材の小説です。事故報道を行う地方新聞社の記者が主人公で、登山が好きな主人公が、事故取材の責任者になって翻弄し、悲惨な事故の報道をどのようにすればよいのか悩みながらも、記事にしていく物語です。

この作品の地方新聞社は実在する上毛新聞社がモデルとなっており、作者も実際にこの新聞社で記者として働いていた時の体験が物語のもとになっていますのでリアリティーがあります。

因みに、上毛新聞社は嵐の櫻井翔のお爺さんも記者をしていたという。地元では有名な新聞社である。

塚田先生のおすすめは…

913.6-ハ『小説8050』 林 真理子 || 著 新潮社

中学生の時に同級生から壮絶ないじめにあっていた少年が、それをきっかけとして7年間にわたってひきこもり、家庭内暴力をふるうようになってしまった。そんな青年が加害者に“復讐”するために裁判をおこし、父と一緒に裁判に立ち向かいながら、徐々に“人間らしさ”をとりもどし、成長していくという物語です。

本を読むことの遅い私が、次の展開が気になってしまい、わずか1日半で読んでしまった作品です。現代の社会が抱える問題についてクローズアップした作品です。大作ですが、夏休みの読書には最適だと思います。

遠山先生のおすすめは…

372-ブ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 プレディ みかこ || 著 新潮社

優等生である息子が「元底辺中学校」に入学。そこは上品なミドルクラスの学校ではなく殺伐とした社会を反映する学校。

息子は学校生活で貧困、人種差別、LGBTといった問題に遭遇します。悩みながらもたくましく成長していく彼の姿にドキドキさせられます。(そういえば自分の中学や高校の時もこんなことを考えたりしていたなあ……。)

今をキラキラと生きる皆さんにお勧めの本です。

長野先生のおすすめは…

913.6-ナ『臨床の砦』 夏川 草介 || 著 小学館

大ベストセラー「神様のカルテ」でおなじみの夏川草介さんは、長野県で地域医療に従事する現役の医師。

コロナ禍に命がけで立ち向かった小さな病院の記録です。政府や自治体が、実態を把握せずに甘い判断を続ける中で、現場の医療従事者たちが、どんな思いで、どれほどの困難を抱えながら患者と接しているのか。

医療看護希望者必読の一冊。

奈須先生のおすすめは…

913.6-イ『もし高校野球部の女子マネージャーがドラッグの『マネジメント』を読んだら』

岩崎 夏海 || 著 新潮社

「もし高校野球部の女子マネージャーがドラッグの『マネジメント』を読んだら」…敏腕マネージャーと野球部の仲間たちが甲子園を目指して奮闘する青春小説。高校野球のマネージャーのみなみちゃんは、マネージャーの仕事のために、ドラッグの『マネジメント』を間違えて買ってしまいます。はじめは難しく後悔するのですが、しだいに野球部のマネジメントにも生かせることに気付きます。これまでのドラッグ読者だけでなく、高校生や大学生、そして若手ビジネスパーソンなど多くの人に読んでほしい一冊。

原口先生のおすすめは…

915.6-ミ『三島由紀夫 紀行文集』 三島由紀夫 || 著 岩波書店

1925年～1970年を生きた三島の南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア各国の旅行記録。

コロナ終息後に、もう一度必ずグローバルの時代はやってきます。世界に目と心を開きましょう。

福島先生のおすすめは…

376-オ『幼児期 子どもは世界をどうつかむか』 岡本 夏木 || 著 岩波書店

幼保系学部や学科を目指す人の中には、この本を既に読んだことのある人が多いと思いますが、保育士や幼稚園教諭などを目指す人たちだけでなく、多くの方にご紹介できる本だと思います。将来子どもを産み育て「保護者として子どもたちとどう向き合うべきか?」「この社会の矛盾を子どもの目線でとらえることの重要性」など考えさせられる本です。「しつけ」「遊び」「表現」「ことば」の4分野にわたって、幼児の中でどんなことが起こっているのか、それに対して保護者や保育者はどのようなかわりが出て来るかなどが分かりやすく書かれています。

幼児は自分にとって関わりの深い人(保育者・保護者)と認識し、その人との関わりに深く影響されます。現代の社会では、普通の愛情すら感じ取ることのできない環境におかれている子どもたちのニュースが見られます。そうした社会の問題にも着目させられる書籍です。是非読んでみてください。

堀内先生のおすすめは…

913.6-シ『スイッチ 悪魔の実験』 潮谷 駿 || 著 講談社

みなさんはこんなアルバイトやりますか?

「一日1万円で一か月間、一か月後には100万円!」

スマホにインストールされたスイッチのアプリ。選ばれた6人はこのスイッチを押しても押さなくてもバイト代がもらえる。しかし…スイッチを押すと幸せな家族(家族経営のパン屋)が破滅する。

みなさんは幸せな家族(家族経営のパン屋)を破滅においやるスイッチを押すことができますか?

ある日このスイッチは押されてしまった!

人気心理コンサルタントの実験「スイッチ」!理由のない悪=純粋な悪は存在するのだろうか?みなさんはどのように感じるのだろうか!

本多先生のおすすめは…

913.5-ウ『マンガ 雨月物語』 上田秋成 || 原作 伊藤結花理 || 画 平凡社

江戸時代に書かれた『雨月物語』は、日本の代表的な怪異集です。『雨月物語』はそれぞれ独立した作品からなっています。九つの物語はそれぞれ異なった内容・構成ですが、全体を通して作者上田秋成の世の中や歴史に対する見方が浮かび上がってきます。

私は40年ほど前、何らかの講義でこの『雨月物語』を知りました。半年間、教授が熱心に講義していましたが、何も覚えていませんでした。そんなある日、図書館でこの本に出会いました。マンガなので気楽に読み易かったです。そして、読みながらこんな内容だったんだって40年ぶりに理解しました。

升田先生のおすすめは…

674-ラ『毎日読みたい365日の広告コピー』 WRITES PUBLISHING || 編 ライツ社

私は普段、街中に貼られているポスターなどに書かれた広告コピーを見るのが好きです。たった一言で商品などの魅力を伝えるものもあれば、私たちの心にグッとくるものもあります。そんな実在した広告コピーが365個紹介された本です。

一言に想いを込められるって、素敵なことだと思います。

松永先生のおすすめは…

289.1-オ『だから、あなたも生きぬいて』 大平 光代 || 著 講談社

著者は中学2年の時に、いじめを苦にして自殺を図る。その後、非行に走り、16歳にしてなんと極道の妻となる。しかし、そこから養父・大平浩三郎と出会って立ち直り、中卒の学歴を乗り越えて、「宅建」、「司法書士」に次々と合格、29歳の時には一発で「司法試験」にも合格する。そして、現在は非行少年の更生に努める弁護士として、活躍中。

そんな大平光代さんが自身の半生を描いた手記です。読んでみてください。

丸一先生のおすすめは…

597-コ『人生がときめく片づけの魔法』 近藤 麻理恵 || 著 サンマーク出版

時間がある夏休み、ときめく片づけをしたくなる本です。私も片づけしなくては…。

三ツ木先生のおすすめは…

『エンゾ レーサーになりたかった犬とある家族の物語』 ガース スタイン || 著
ヴィレッジブックス

(図書館蔵書『The Art of Racing in the Rain』 Garth Stein || 著 HarperCollins Publishers Ltd)

カーレーサーとその家族の人生と犬の視点から描く。

スウィフト家の飼い犬エンツォは、どしゃ降りの人生を歩むことになった一家の心の支えとなり、彼らをあたたかく見守り続けた。

老境に入ったエンツォが、時にユーモラスに、時に辛口に、愛する家族と過ごした日々を回想していく。

NYタイムズ・ベストセラー17週連続ランクイン！感動です！！

守谷先生のおすすめは…

494-コ『おくすり朝ごはん』 小林 智子 || 著 ワニブックス

「どんな貴族価格のスキンケアも、内側から食べて補うケアにはかなわない！」ということで読んでみました。

スキンケア…マスク荒れ、ストレス荒れに悩まされるコロナ禍でできる、ささやかだけど贅沢な楽しみだと思えます。かわいいコスメを買っても、お肌が調子よくないといまひとつのらない。高い何かを使う前に、食べてみましょう。

薬師先生のおすすめは…

780-バ『心を強くする 「世界一のメンタル」50のルール』 サーシャ・バイン || 著
飛鳥新社

うまくいかないこと、切り替えられないこと、たくさんありますよね。自分自身のコントロールって本当に難しい。今一度、自分自身と向き合いたい人に読んでもらえたら良いかなと思います。

山崎先生のおすすめは…

368-ミ『ケーキの切れない非行少年たち』 宮口 幸治 || 著 新潮社

丸いケーキを3等分できない少年。凶悪な犯罪を犯す少年達には理由があった。

人との関わり方を考えさせられる本です。

結城先生のおすすめは…

914.6-ㄗ『東西不思議物語』 澁澤 龍彦 || 著 河出書房新社

「フランケンシュタイン」というと青白い顔の怪物を思い浮かべますが、実は人造人間の彼を作った博士の名前。怪物に名前はありません。これはイギリスの物語ですが、日本でも人造人間創出の逸話があるそうで、それが歌僧として有名な西行。西行は山での修行中、あまりの寂しさに秘術で人造人間を作り出すことに。しかし、生まれた人間は様子がおかしく…。その後の行動に僕は少しゾッとしました。(仏教説話集『撰集抄』より)。UFO、幽霊、ポルターガイストなどのなぜか似通った世界中の不思議な物語を古今の様々な文献からテーマ別にまとめた四九編。読み易く勉強になりました。

湯本先生のおすすめは…

913.6-ㄠ『ひと』 小野寺 史宜 || 著 祥伝社

自分の生き方も、人との縁も、人生はどんなことがきっかけで変わっていくかわからない、ということを考えさせられる物語でした。特に印象深かったのは「いろいろな考え方があるなかで、価値観を共有できる、居心地のいい相手は大切だ」というところです。

鈴木司書のおすすめは…

440-ㄗ『138億光年 宇宙の旅』 渡部 潤一 || 著 クレヴィス

旅したつもりで観光ガイドブックを眺めるのは楽しい時間の過ごし方です。夏休み中はさらに壮大な冒険をするつもりで、宇宙の景色を味わってみませんか？実際に行くかどうかはともかく、この本に掲載されているNASAの画像はとても美しいです。この頃ではあるお金持ちが宇宙観光をするための訓練をロシアで始めたとか、火星に移住する人の募集が始まったとか、宇宙旅行が話題になります。火星の空は赤いけれど、夕ぐれの色は青、木星の表面には地球が丸ごと入ってしまうほど巨大な渦模様があり、遠くの別銀河には光り輝く星雲があります。月の裏側の写真だってあります。そうしてまた月から望む“地球の出”の青い輝き。こんなに美しい地球上で、私たちは毎日の生活を営んでいるのか。そう思って画像を見ていたら、何気ないこの瞬間も地球に乗って宇宙を旅していることに他ならず、実際に大冒険の真っ最中なんだと気づきました。

今井司書のおすすめは…

933-ㄠ『ザリガニの鳴くところ』 ディーリア・オーエンズ || 著 友廣 純 || 訳 早川書房

2021年本屋大賞の【翻訳小説部門】で大賞を受賞した作品です。

主人公の少女カイアが住むのは湿地のまさに“ポツンと一軒家”のような家。大勢いた家族は次々と家を捨てて出ていき、カイアだけが残されます。

しかし彼女は強い。湿地で一人生きていく道を選んだカイアは、冒険のような暮らしの中で生きる術を身につけるだけでなく、多くの知識を独学で得ながら、美しく賢い女性へと成長していきます。

そのたくましい姿を追っていただけでもおもしろい物語ですが、読者を惹き込むのはカイアの成長と並行して描かれる湿地の不審死事件です。次第にふたつの物語は交錯していき、とうとうカイアが不審死の容疑者にされてしまいます。真実がわかるのは本当に最後の最後で、「こんなに本でドキドキするのはひさしぶりだ！！」と感じる物語でした。